

11/19日

「トラベル」除外なお慎重

分科会「感染急増」なら検討要請

新型コロナウイルスの新規感染者数が全国で過去最多を更新していることに関し、政府は感染の再拡大に警戒を強めつつも、観光支援策「Go To トラベル」を継続する方針だ。政府の新型コロナ対策分科会は、感染状況によって対象地域から除外することも検討するよう求めているが、感染防止と経済再生の両立を目指す政府は見直しに慎重姿勢を崩さない。

(村上一樹)

「ある都道府県がステージ3相当と判断された場合は、除外することも検討」
(9月11日に政府の分科会が提言)

新型コロナ 感染状況の四つのステージ

- ステージ1 感染者の散発的発生
- ステージ2 感染者の漸増
- ステージ3 感染者の急増**
- ステージ4 爆発的な感染拡大

政府の分科会がまとめた、ステージ判断にあたっての6指標

指標	病床の逼迫具合 (全体・重症者用それぞれ)	10万人あたりの療養者数	PCR陽性率	1週間の10万人あたりの新規感染者数	直近1週間と前週1週間の比較	感染経路不明割合
ステージ3	現時点の病床の25%以上	15人以上	10%	15人以上	直近1週間が前週1週間より多い	50%
	最大で確保できる病床の20%以上					
ステージ4	最大で確保できる病床の50%以上	25人以上		25人以上		

目安は6指標

療養者数

陽性率

経路不明割合

政府の分科会は感染状況を四つのステージに分類。「感染急増」にあたる「ステージ3」と判断される地域に関しては、さらなる感染拡大を防ぐために「Go To トラベル」の対象からの除外も検討するよう九月に提言した。ステージを判断する指標としては「病床の逼迫具合」「療養者数」「陽性率」「感染経路不明者の割合」など六項目を挙げる。東京都では六つの指標のうち、PCR陽性率を除く五つが「ステージ3」以上の状態になつている。

分科会は「指標はあくまで目安で、国や都道府県は、総合的に判断する必要がある」と指摘。政府は旅行業者、旅行者双方に検温や換気、消毒などの感染防止策の徹底を呼び掛けているものの、都道府県境をまたぐ移動の自粛などは求めていない。
加藤勝信官房長官は十八日の会見で「感染防止策をしっかりやれば旅行による感染リスクは低減できる。東京から除外してほしい」という要望も受けていない」と強調した。